

ノーベル平和賞

核兵器禁止条約と日本の役割

ICAN事務局長 国会議員と討論集会



報告するフィンICAN事務局



16日行われたフィンICAN事務局長と国会議員との討論集会

核兵器で平和と安定はつくれない

フィンICAN事務局長の報告(要旨)

核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)のベアトリス・フィン事務局長が、国会議員との討論集会の冒頭で行った報告(要旨)は次の通りです。

被爆者の経験と素晴らしい運動がICANの活動の土台をつくり、今回のノーベル平和賞受賞につながりました。日本は唯一、核戦争による倫理、経済、社会的な代償を知る国です。私は広島と長崎で多くの被爆者のご家族と話しました。人類における最悪の出来事の記憶を引き継いできた方々に、深い敬意を表したい。これ以上の被爆者を生みだすことは決して許されません。

唯一の被爆国として 核兵器禁止条約に参加を

私は、核保有国や条約に反対する国々から圧力を受けました。日本にも条約参加に反対する議論や懸念がありますが、条約は新しい国際規範として多くの国が支持を表明しています。核兵器の非合法化は世界の流れです。日本は国際社会と市民社会から「倫理的義務を果たしていない」と強い圧力がますますかかってくるでしょう。日本は唯一の被爆国として禁止条約に参加することで、世界の核軍縮のリーダーとなりえます。

罪なき何百万人を殺戮する 核兵器で安全保障はできない

何百万人もの罪のない一般市民を殺戮(さつりく)する核兵器は、安全保障の中核にはなりません。もし核抑止がベストな安全保障政策であれば、命は失われず、紛争も防げる、安全性も高ま

るはずで、核兵器をめぐる歴史は、それと反対の結果を招いたことを証明しています。

核抑止論は「神話」 北朝鮮の核開発阻止できず

北朝鮮情勢も非常に危険な状況ですが、核兵器による抑止ではなく、いかに禁止するかが重要です。核抑止は「神話」です。現実をみれば北朝鮮の核開発は阻止できなかったし、核拡散につながった。核兵器は誰のもとにあっても、平和と安定をつくれぬものです。

核兵器の非合法化は 安定をもたらす

核兵器の退場は、安全保障政策にとって必要なステップであり、安定をもたらすものです。国際法で違法とされた兵器を製造、保有すればその国の政治的地位は落ちます。世界ではすでに大手の金融機関などが核兵器を製造する企業に投資をしなくなっている流れができています。

条約批准したらどんな 影響を与えるのか調査を

いまや安全保障を核兵器に依存することは恥ずかしいことです。まず日本には条約そのものに向き合い、批准した場合はどのような影響を与えるのか、調査に踏み出してほしいと思います。

「ノーベル平和賞受賞のICANのフィン事務局長らを迎え、与野党10党・会派との討論集会「核兵器禁止条約と日本の役割」が16日、国会内で開かれました。フィン事務局長は、「核兵器があることによって平和と安定はつくれない」、「核兵器の非合法化は世界の流れになる」と強調し、日本が核兵器禁止条約に参加することを訴えまし

「た。日本政府から佐藤外務副大臣が出席し、「北朝鮮の脅威」を挙げ、「核兵器を有する米国の抑止力を維持しなければならない」と主張。条約には「署名できない。参加すれば核抑止力の正当性を損なうことにつながる」とフィン事務局長の報告に非難を

泉北教組に加入して子どもと教育をを守ろう!